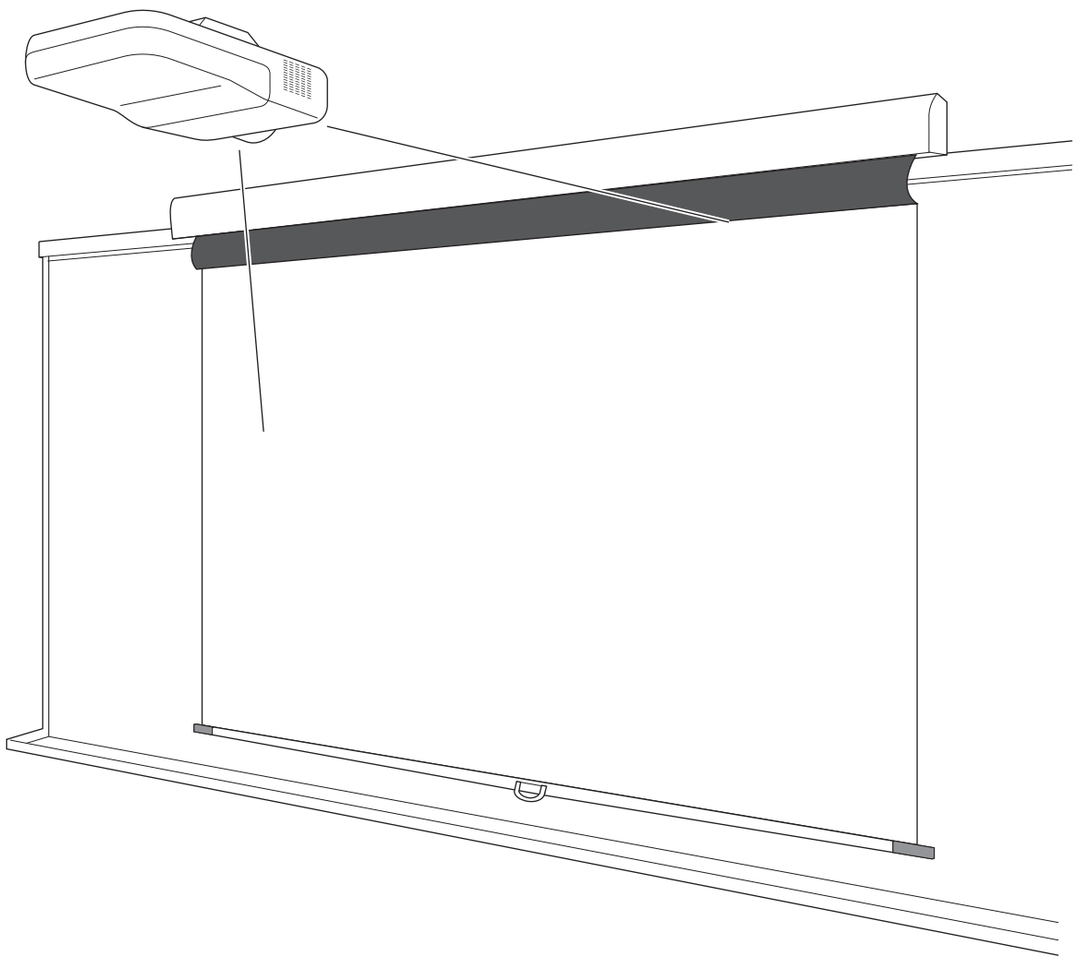
スプリング巻き上げ式マグネットスクリーン
IS-WOL80V 取扱説明書



このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用の前に必ずお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

IS_WOL80V.indd 1 2014/12/01 21:03:18

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

安全上のご注意の注意事項を守る	「安全上のご注意」の注意事項を必ずお読みください。
定期的に点検する	ご使用前に、スクリーンの巻き取り部やつまみなどに、ゆがみ・ゆるみ・破損や亀裂等がないことを確認してください。点検は１年に１度行ってください。
故障したら使用しない	動作がおかしくなったり製品の破損に気がついたら、すぐに使用を中止して販売店に修理をご依頼ください。

火気禁止 **熱器具のそばに設置しない**

製品にはプラスチック素材を使用しています。ストーブやヒーターなど発熱器具に近い場所に設置すると火災の原因になります。

禁　止 **金属製品などでこすらない**

スクリーンの表面は非常に硬いコート層で保護されていますが、プラスチック素材を使用しているため金属などの硬いもので強くこすると傷付く可能性があります。

禁　止 **磁性記憶媒体を 10cm 以内に近づけない**

スクリーンの 10cm 以内に、定期券、キャッシュカード、CD、DVD などの磁性記憶媒体を近づけないでください。データを破損する可能性があります。

注　意 **スクリーン面に粘着テープなどを貼らない**

誤ってセロテープなどの粘着テープを貼ったときには、粘着性が残らないよう注意しながらすぐに剥がしてください。粘着材がスクリーン面に残った場合は、中性洗剤などを使ってていねいに拭き取ってください。

注　意 **スクリーンを取り扱うとき**

スクリーンを引き出す、収納する際には、周りに人や障害物がないかを十分に確認してください。

禁　止 **子供がさわらないようにする**

小さなお子様がスクリーンを操作したり、スクリーンを使って遊ばないように注意してください。

- スクリーンを引き下げすぎないでください。製品に付いているストップシール以上に引き下げると故障の原因だけでなく、スクリーンが落下して大ケガをする恐れがあります。
- 巻き上がる際の上昇速度は室内の温度環境によって多少変化しますが、故障ではありません。

IS_WOL80V.indd　2　2014/12/01　21:03:18

設置に関するご注意

次のような場所には設置しないでください。

・湿度の高い場所

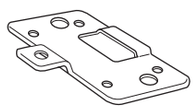
・直射日光のあたる場所

・ほこりの多い場所

・風が直接あたる場所

・ストーブや熱器具の近く

取付部品の名称



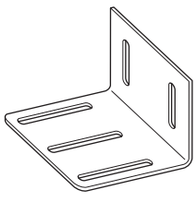
1

2

3

4

5



6

7

8

9

10

11

1	取付金具Ａ（天井・ボックス・壁側）	２個
2	取付金具Ｂ（本体側）	２個
3	取付ナットＣ（本体側）	２個
4	ボルトＤ（皿５×10mm）	２本
5	ボルトＥ（トラス５×12mm）	２本
6	Ｌ字金具Ｆ	２個

7	ボルトＧ（六角Ｍ10×30mm）	４本
8	ワッシャーＨ（M10）	４本
9	スプリングワッシャーＩ（M10）	４本
10	ナットＪ（M10）	４本
11	皿タッピングネジ（φ4×50mm）	８本

※スプリングワッシャー、ナットは用途に応じてご使用ください。

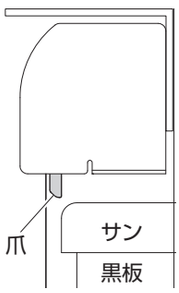
IS_WOL80V.indd 3　2014/12/01 21:03:18

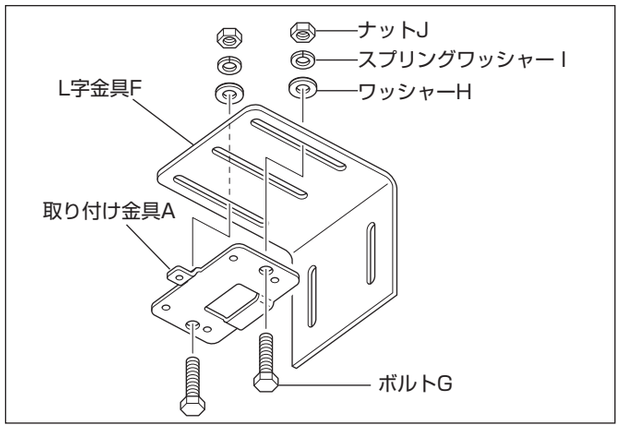
スクリーンを壁面に取り付ける

⚠注意　取り付け場所の強度を充分確認の上、取付作業をしてください。

設置場所に取付金具 A を取り付ける

1. 壁面に L 字金具 F を取り付け、取付金具 A を取り付けます。
   - 前後方向の位置はイラストを参照してください。
   - 必ず水平に取り付けてください。



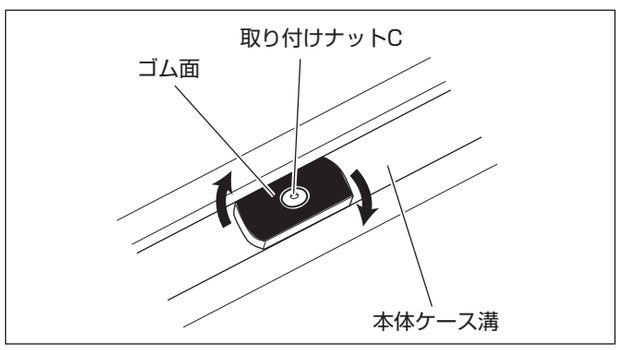


※L 字金具は上下反転してご使用できます。

本体ケースに取付金具 B を取り付ける

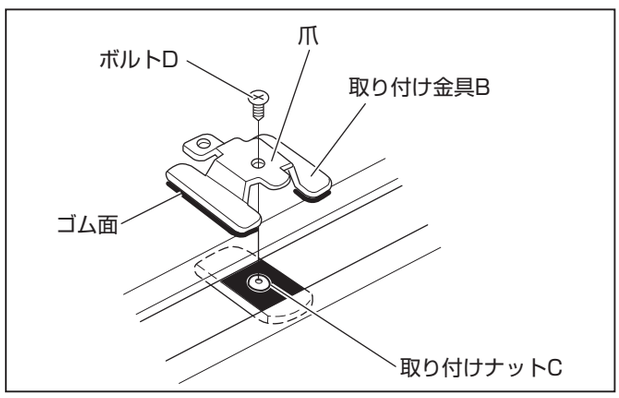
2. 本体ケースの取付金具 B を取り付ける位置に印を付けます。

3. 取付金具 B のボルト D を緩めて、取付ナット C を外します。ゴム面を上にして本体ケースの溝に収めます。



4. 本体ケースの溝内部で取付ナット C を右方向に 90˚ 回転させて、本体ケースからナットが外れないようにします。取付金具 B のゴム面を本体ケースの溝の両縁に渡した状態で、ボルト D を軽く締めて仮固定します。
   取付金具 B の突起が、取付ナット C の上に載らないように注意してください。

5. 取付金具 B を 2. で付けた印に合わせ、ボルト D を強く締めて固定します。
   このとき、取付金具 B の突起が取付ナット C の上に載っていないか、取付ナット C が溝方向に対し直角にセットされているか確認してください。



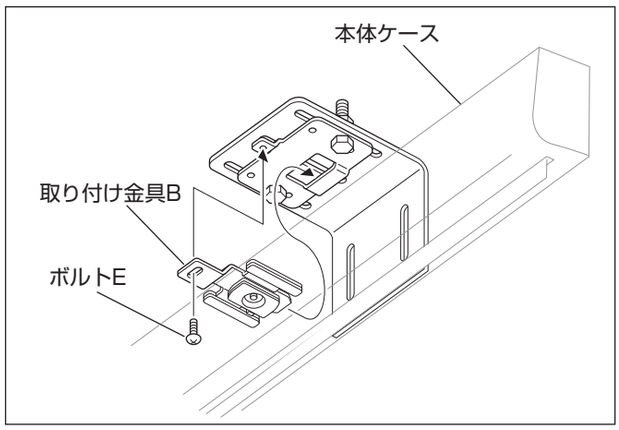
IS_WOL80V.indd　4　2014/12/01　21:03:19

本体ケースを取り付ける

⚠注意　取り付け時は、取付金具Ａから本体ケースが抜け落ちないよう注意してください。また、施工の途中で本体ケースから絶対に手を離さないでください。

6. 取付金具Ｂの爪を、Ｌ字金具と壁に取り付けた取付金具Ａのくぼみに差し込みます。
7. 取付金具Ｂのボルト E を取付金具Ａのネジ穴に合わせ、強く締めて固定します。

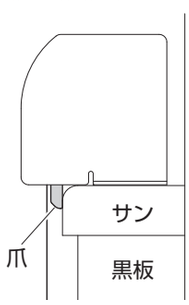
※Ｌ字金具は上下反転してご使用できます。

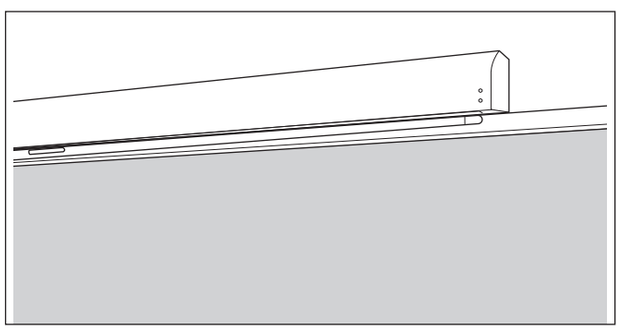


スクリーンを黒板のサンに取り付ける

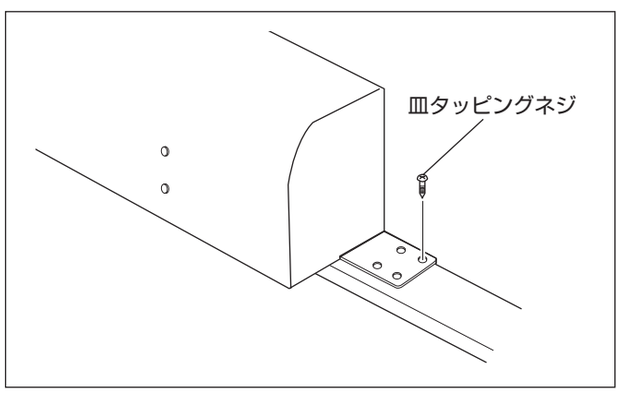
⚠注意　取り付け時は、本体ケースの落下に充分ご注意ください。取り付け場所の強度を充分確認の上、取付作業をしてください。

1. 本体ケースを黒板のサンの上に設置します。
   - ボトムバー抑えの爪がサンに掛かるように設置してください。





2. ケース端部の金具を、皿タッピングネジ片側各４本で黒板のサンに固定します。



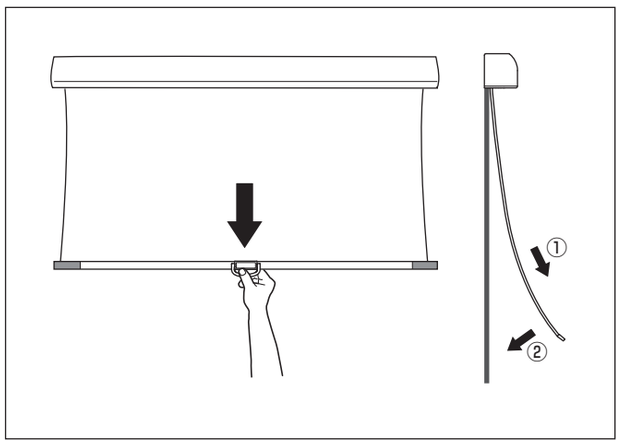
IS_WOL80V.indd　5　2014/12/01　21:03:19

スクリーンをセットする

スクリーンを引き出す

1. スクリーンの取っ手をしっかり握り、黒板から離しながら下向きに引くように上黒が見えるところまで引き出します。

2. スクリーンの有効面が黒板面におさまるよう、スクリーンを黒板面に貼り付けます。
   スクリーンをストップシール以上に引き下げると、故障の原因だけでなく、スクリーンが落下して大けがをする恐れがあります。

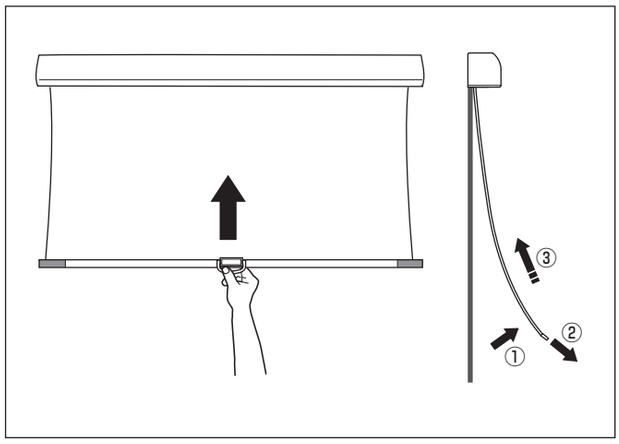


3. 貼り付け時にエアーなどが入った場合は、一度剥がしてから貼り付け直します。
   スクリーン貼り付け時は、上側中央を指で押さえゆっくり貼り付けてください。端部がカールして浮いたときは、カールした箇所を上から手で軽く押し付けるとしっかりと貼り付けることができます。巻きぐせが強く貼り付かない場合でも、しばらく貼ったまま放置しておくと貼り付きます。
   ※ カール：スクリーンの巻きぐせ

IS_WOL80V.indd　6　2014/12/01　21:03:19

スクリーンを収納する

1. スクリーンの取っ手をしっかり握り、スクリーンを黒板面から剥がします。
2. 取っ手を軽く引き下げてロックを解除させると、スクリーンは自然に巻き戻り収納します。

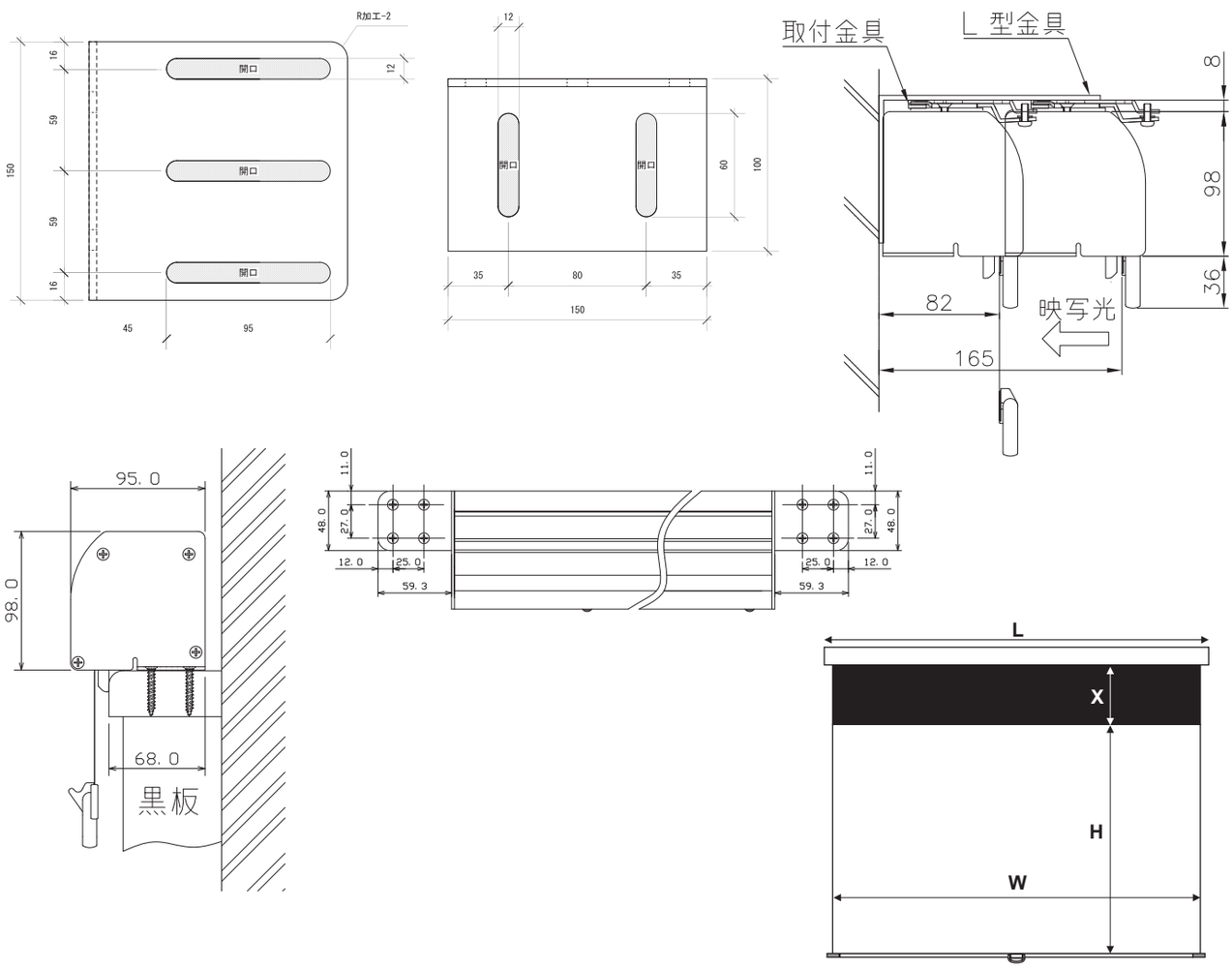


IS_WOL80V.indd　7　2014/12/01　21:03:19

スクリーンのお手入れ

スクリーンを長時間使用するとマーカーの細かい顔料が付着し汚れますが、水拭きでかんたんに拭き取ることができます。お手入れ後はスクリーンが完全に乾いてからご使用ください。水拭きのお手入れは１週間に１回程度をおすすめします。

基本仕様



品番	価格	仕様生地	フォーマット
IS-WOL80V	OPEN	WOL	16：10
イメージ寸法 W×H（mm）	ケース寸法 L（mm）	上黒（MAX）×（mm）	重量（kg）
1871×1160	1960+ サン取付部（60mm）	300	8.0

製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課　〒 141-0021 東京都品川区上大崎三丁目１番１号 JR 東急目黒ビル 15F　TEL：(03) 5719-7482

IS_WOL80V.indd　8　2014/12/01　21:03:19